

日本学術会議地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同地理教育分科会
自然地理学・環境防災教育小委員会（24期・第5回）
議事録

日時：2019年12月27日13:00～14:00

場所：日本学術会議6-A会議室

出席者：春山、久保、篠田、鈴木康弘、宇根、木村、小岩、須貝、山縣、山口

1) 前回議事要旨の確認

メール審議を経て提出され、Web掲載済であることを確認した。

2) 提言案についての確認

・自然地理・環境防災教育小委員会の立場から提言に何を盛り込むべきか、提言の動機にまで立ち返って議論したいとして議論が行われた。以下のように意見集約された。

1. 持続可能な社会づくりを担える素養を確実に高めるため、「地理総合」は大学入試において重視されるべきである。

・従来の「地理A」と「地理B」の関係と、「地理総合」と「地理探究」の関係は異なる。そのため「地理B」が安易に「地理探究」に置き換わることがないようにすべきである。
・歴史教育から発出された入試科目の取り扱いに関する提言と、我々の主張とは異なる。

2. 高校1年で地理総合を学習したうえで、地理探究へ進む必要がある。

3. 現場の高校教員のスキルアップを支援する制度を整える必要がある。

4. 大学において、地理総合を担当する教員を養成するための体制を強化する必要がある。

3) その他 なし